



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月26日

上場会社名 キムラユニティー株式会社  
 コード番号 9368 URL <https://www.kimura-unity.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成瀬 茂広  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理本部長 (氏名) 小山 幸弘  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 052-962-7053

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	44,035	5.4	2,549	14.1	3,121	13.8	1,949	14.3
2022年3月期第3四半期	41,771	11.8	2,235	37.6	2,741	52.9	1,705	63.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 3,422百万円 (23.2%) 2022年3月期第3四半期 2,777百万円 (98.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	85.30	—
2022年3月期第3四半期	71.21	—

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	56,505	35,209	58.8	1,497.54
2022年3月期	56,024	33,519	57.1	1,360.63

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 33,230百万円 2022年3月期 31,970百万円

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	32.00	52.00
2023年3月期	—	15.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	27.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、2023年3月期(予想)の配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2023年3月期(予想)の年間配当予想は84円(32円増配)となります。配当予想の修正については、本日(2023年1月26日)公表いたしました「株主還元方針の変更及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	5.1	3,300	12.3	3,800	3.5	2,500	14.6	104.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(株) 当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	23,543,800 株	2022年3月期	23,500,000 株
2023年3月期3Q	1,353,498 株	2022年3月期	3,498 株
2023年3月期3Q	22,847,782 株	2022年3月期3Q	23,944,502 株

(注)当社は、2022年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、各国の新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和を受け緩やかな回復が予想されたものの、中国でのロックダウンに伴う市場でのサプライチェーンの混乱による生産制約や品不足の深刻化、ロシア・ウクライナ問題の長期化による原材料、エネルギーコストの高騰等厳しい状況で推移しました。海外においても、ロシアのウクライナ侵攻を契機とした海外経済の減速懸念は高まっており、国際商品価格の高騰で原材料コストの高止まりや、米国をはじめとする世界各国の経済・金融政策や為替の動向は、今後も多くの地域や産業に影響を及ぼす可能性があり、国内外ともに依然として先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループと関係の深い自動車業界におきましては、新型コロナウイルス感染症対策の世界的な進展により、業界全体で平時に向かっていくと期待されていたものの、ロシア・ウクライナ問題の長期化、中国でのロックダウン、市場でのサプライチェーンの混乱や供給制約の影響による自動車向け半導体不足に加え、2016年より話題であった「CASE」というテーマが「脱炭素化」や「デジタル化」により一段と進展する等、先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような環境の中で当社グループにおきましては、物流サービス事業における受注量の増加等により、売上高は44,035百万円（前年同期比5.4%増収）となりました。

営業利益は、国内包装事業での主要顧客の工場閉鎖等の影響はあったものの、全社で展開されております収益改善施策の進展等により、2,549百万円（前年同期比14.1%増益）、経常利益は、円安の影響の押し上げもあり、為替差益が増加したこと等により、3,121百万円（前年同期比13.8%増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増益等により、1,949百万円（前年同期比14.3%増益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

#### ①物流サービス事業

売上高は、国内の物流サービス事業、中国子会社広州広汽木村進和倉庫有限公司及び北米子会社KIMURA, INC. における受注量の増加等により、31,660百万円（前年同期比6.3%増収）となりました。営業利益は、自動車向け半導体不足影響による工場稼働停止等の影響はありましたが、現場第一線での日々決算活動の推進による収益力向上等により、3,021百万円（前年同期比3.5%増益）となりました。

#### ②自動車サービス事業

売上高は、国内子会社株式会社スーパージャンボの新車販売台数の減少等により、10,497百万円（前年同期比0.2%減収）となりました。営業利益は車両リース事業におけるリース期間満了車の売却価格の改善等により、558百万円（前年同期比15.0%増益）となりました。

#### ③情報サービス事業

売上高は、主要顧客からの受注量の増加等により、1,266百万円（前年同期比17.5%増収）となりました。営業利益は外注委託費の削減等による業績改善により、174百万円（前年同期比370.3%増益）となりました。

#### ④人材サービス事業

売上高は、市場の人材獲得競争の中、エリア貢献のための拡販（中部、関西、関東への展開）実現に向けて積極的な拡販活動や新規顧客の獲得に注力したこと等により、1,124百万円（前年同期比50.8%増収）となりました。営業利益は3百万円（前年同期比142.0%増益）となりました。

#### ⑤その他サービス事業

売上高は、売電サービスにより、36百万円（前年同期比5.1%増収）となりました。営業利益は11百万円（前年同期比16.3%増益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は56,505百万円となり、前連結会計年度末に比較して480百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産が525百万円、投資その他の資産が465百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債合計は21,296百万円となり、前連結会計年度末に比較して1,208百万円の減少となりました。その主な要因は、未払金及び長期未払金の減少等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して1,689百万円増加の35,209百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末比1.7ポイント上昇の58.8%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年4月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,688	9,117
受取手形、売掛金及び契約資産	10,297	9,626
リース投資資産	7,497	6,881
商品及び製品	430	531
仕掛品	31	47
原材料及び貯蔵品	337	317
その他	875	1,134
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	28,157	27,654
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,508	8,993
機械装置及び運搬具（純額）	526	613
賃貸資産（純額）	467	459
土地	6,813	6,860
リース資産（純額）	664	560
建設仮勘定	3	13
その他（純額）	1,275	1,284
有形固定資産合計	18,260	18,786
無形固定資産		
のれん	29	16
その他	1,146	1,151
無形固定資産合計	1,175	1,168
投資その他の資産		
投資有価証券	5,313	5,219
繰延税金資産	172	160
その他	2,986	3,568
貸倒引当金	△42	△51
投資その他の資産合計	8,430	8,896
固定資産合計	27,867	28,851
資産合計	56,024	56,505

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,319	934
短期借入金	845	1,564
1年内返済予定の長期借入金	1,000	2,000
未払金	3,049	2,312
未払費用	2,720	3,707
リース債務	481	508
未払法人税等	787	481
賞与引当金	1,266	547
役員賞与引当金	40	30
その他	1,057	887
流動負債合計	12,567	12,974
固定負債		
社債	-	1,000
長期借入金	3,000	1,000
長期未払金	4,728	4,140
繰延税金負債	118	88
リース債務	1,013	804
退職給付に係る負債	-	10
再評価に係る繰延税金負債	874	874
その他	201	403
固定負債合計	9,937	8,322
負債合計	22,505	21,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,580	3,596
資本剰余金	3,414	3,430
利益剰余金	22,725	23,966
自己株式	△2	△1,058
株主資本合計	29,717	29,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,593	1,411
土地再評価差額金	534	534
為替換算調整勘定	528	1,682
退職給付に係る調整累計額	△403	△332
その他の包括利益累計額合計	2,252	3,296
非支配株主持分	1,549	1,978
純資産合計	33,519	35,209
負債純資産合計	56,024	56,505

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	41,771	44,035
売上原価	34,076	35,880
売上総利益	7,695	8,155
販売費及び一般管理費	5,459	5,605
営業利益	2,235	2,549
営業外収益		
受取利息	46	47
受取配当金	71	81
持分法による投資利益	297	326
為替差益	94	137
その他	58	51
営業外収益合計	569	644
営業外費用		
支払利息	53	52
その他	9	20
営業外費用合計	63	73
経常利益	2,741	3,121
特別利益		
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	77	-
特別利益合計	82	4
特別損失		
固定資産除売却損	16	26
契約解除損失	-	9
その他	0	0
特別損失合計	17	36
税金等調整前四半期純利益	2,805	3,089
法人税、住民税及び事業税	909	862
法人税等調整額	△11	66
法人税等合計	897	928
四半期純利益	1,908	2,160
非支配株主に帰属する四半期純利益	202	211
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,705	1,949

## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,908	2,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	183	△181
為替換算調整勘定	562	1,314
退職給付に係る調整額	79	71
持分法適用会社に対する持分相当額	43	57
その他の包括利益合計	869	1,261
四半期包括利益	2,777	3,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,449	2,993
非支配株主に係る四半期包括利益	328	428



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,762	10,490	1,077	406	41,736	34	41,771	-	41,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	33	-	338	388	-	388	△388	-
計	29,778	10,523	1,077	745	42,124	34	42,159	△388	41,771
セグメント利益	2,918	486	37	1	3,443	10	3,453	△1,217	2,235

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,217百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,220百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	31,646	10,462	1,266	623	43,999	36	44,035	-	44,035
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	35	-	500	549	-	549	△549	-
計	31,660	10,497	1,266	1,124	44,548	36	44,585	△549	44,035
セグメント利益	3,021	558	174	3	3,758	11	3,770	△1,220	2,549

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益の調整額△1,220百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,223百万円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。